

長野県の小児付き添い環境 に関する実態調査2026

回答期限：2026年2月16日

(調査期間：2月1日～2月16日)

調査
対象

2023年1月から現在までの期間に
長野県内および県外の医療機関で
入院時に18歳以下のこどもの入院を経験したご家族

調査
目的

長野県で入院するこどもと家族が安心して
治療や療養に専念できる付き添い環境の整備に向け、
当事者のニーズや付き添い環境の実態や課題を把握します。



ご回答はこちらから
お願いいたします

こどもたちが安心して
入院できる付き添い環境を
ともに作りましょう。



わたしたちの経験を
長野の未来につなげます。

アンケートにご協力ください

回答には15～25分かかります(途中保存可能です)。
回答内容によって回答者が特定されることなく、
回答者やお子さんの不利益になることはありません。

調査主体：長野県小児付き添い環境を考える連絡会

問い合わせ先：lunchterrace.azumino@gmail.com(連絡会事務局／ランチテラス)

後援：長野県 協賛：セイコーエプソン労働組合

※このポスターはセイコーエプソン労働組合のご協力のもと印刷しています。



連絡会の詳細は
こちらから

付き添い環境の改善策を考えるための基礎資料にします 一人でも多くの経験者のご回答をお待ちしています

こども家庭庁と厚生労働省では、令和6年度より小児病棟の付き添い環境の改善に向けた対策に取り組んできました。長野県でも改善すべき課題であるとの認識のもと、令和8年度当初予算案において母子保健対策推進事業の中で新たに「入院中のこどもの付き添い家族環境改善事業」の実施を盛り込んでいます。こうした対策を県民としても支えていくためには、当事者家族、支援団体が中心となり、本県における付き添い環境の実態や課題を把握していく必要があると考えます。

そこで、県内の6つの小児支援団体が連携する本連絡会では、当事者の視点から付き添い環境の現状を把握し、こどもの入院にかかわる多様な立場の方々と共有できる基礎資料とするために、本調査の実施を計画しました。長野県のこどもたちとご家族が安心して入院し治療や療養に専念できる付き添い環境を、みんなでとらにつくっていきましょう。みなさんの体験がこれからの長野県全域の入院中のこどもと家族を支えています。ご協力よろしく願いいたします。

長野県小児付き添い環境を考える連絡会 メンバー団体からのメッセージ



各団体の詳細は
こちらから

ランチテラス

こどもの入院に伴う家族の苦悩。普段は声にすることをためらう小さな違和感や諦めにも似た気持ち。誰にどう伝えたいのかも分からない。胸の奥にしまっていた思いや実際に起きていたことを聞かせてもらえませんか。それもまた次の選択肢を増やすための大切な声です。

一般社団法人 医ケアの輪

この活動に参加したのは、こどもが入院しているとき、病院の環境がもう少しなるといいのにと思ったからです。病院や医療者に負担なく環境を整えてもらえるとしたら行ってもらいたいことはありませんか。あなたの声を聞かせてください。その想いを県や国に届けましょう。

18トリソミーの子どもを持つ 親の会 サークル「18っこのわ」

心配でそばにいたい……。付き添えるのはありがたかったけれど、親にとっても慣れない環境、こどもゆえのプライバシーのなさ、医療的ケアを覚えたり子の病状への心配が重なったり、思った以上に疲弊しました。これは私だけが感じていたこと？ その思いを聞かせてください。

全国心臓病の子どもを守る会 長野県支部

アンケートにお答えいただき、本当にありがとうございました。なかには付き添い中の方もおられたことでしょう。みなさんのご協力によって長野県の入院環境の実態が明らかになり、私たち一人ひとりの付き添い経験が入院環境の改善につながることを心から願っています。

ピアサポート団体 ピアリイ

私たちは、似たような境遇の仲間が体験や悩みを分かち合い、支え合うことで、ご家族の心が元気になる、いつも笑顔でいられること、こうした元気や笑顔がこどもたちに届くことを願って活動しています。この度はアンケートのご協力ありがとうございました。

ひめりんごの会

NICU面会の日々、病棟での付き添い生活。それらの時間は付き添う人自身や家族の暮らし、仕事にも影響していきます。うまく言葉にできなくても構いません。あなたとご家族が過ごした時間を、ありのままに教えてください。その声が、これからの入院環境を考える力になります。